

管内概要



樽前山の溶岩ドーム

樽前山は後支笏カルデラ火山の一つで標高は1041mになります。世界的にも珍しい三重式活火山で頂上にある溶岩ドームは北海道の天然記念物に指定されています。

現在見られる溶岩ドームは1909年の中規模噴火の際形成されました。また樽前山はその後も周期的に小規模噴火を繰り返すなど火山活動は予断を許さない状況にあると言えます。

一方で山麓下流域は開発が進み、樽前山の火山噴火による被害は甚大なものになると考えられています。胆振東部森林管理署ではその対策のため、関係機関と連携し治山施設の整備を進めています。



林野庁 北海道森林管理局
胆振東部森林管理署

管理経営の基本は公益的機能の増進です

胆振東部森林管理署は、東部は日高、北部は石狩空知、西部は後志胆振森林計画区に接し、南部は太平洋に面している「胆振東部森林計画区」内において、約62千haの国有林を管理経営しています。



管轄区域の森林は、国有林所在市町（苫小牧市、白老町、むかわ町）の水源林や火山地域（樽前山）における防災林としての働き、ポロト自然休養林・インクラの滝風景林やクッタラ湖・ホロホロ山等レクリエーションエリアとしての利用など、さまざまな公益的機能の発揮が期待されています。

また、この地域の森林は、それ自体が炭素の大きな貯蔵庫です。私たちが公益的機能発揮のために、森林の適切な整備・保全とこれらを通じて供給される木材の有効利用を図るために、多様な森林への誘導に先進的に取り組むことが求められていることから、民有林と連携し「地域管理経営計画」等に基づき、国有林の組織力・技術力・資源を活かして取り組むことが地球温暖化防止につながる二酸化炭素の一層の吸収・固定に大きく寄与することとなります。

機能類型にふさわしい 森林の取り扱いを進めています

公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、森林計画区内の国有林野を重視すべき機能に応じ、「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」及び「水源涵養タイプ」の機能類型に区分し、各機能の発揮を目的とした管理経営に努めています。

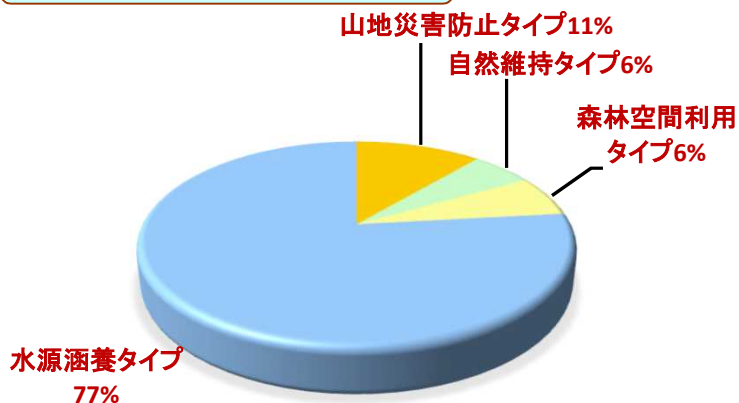
機能別の森林区分の整備及び保全方針

機能類型区分

管理経営の考え方

山地災害による人命・施設の被害の防備その他の災害に強い国土基盤の保全・形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林	山地災害防止タイプ	保全の目的に応じ、保全対象と当該林分の位置的關係、地形や地質等の地況、森林の現況等を踏まえて整備を行う
良好な自然環境を保持、希少な生物が生息しているなど、特に森林生態系における生物の多様性を保持する機能を重点的に発揮すべき森林	自然維持タイプ	保護を図るべき森林生態系、野生生物の特性に応じ、保全すべき環境の維持・形成を図る森林の整備を行う
優れた自然美や歴史的風致を構成している、郷土樹種を中心として安定した林相をなしている等、それぞれの利用形態に応じた機能を重点的に発揮すべき森林	森林空間利用タイプ	利用形態に応じた森林を造成するほか、必要に応じて施設を整備する
騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象の緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林	快適環境形成タイプ	汚染物質の吸着等それぞれの地域の特徴や、求められる環境の維持・形成を図る森林整備を行う
良質な水の安定供給など水源を涵養する機能を重点的に発揮すべき森林	水源涵養タイプ	根系や下層植生の発達が良好で、諸被害に強い等の森林を造成する

機能別の森林区分面積割合



森林空間利用タイプ(ポロト自然休養林)

森林機能の維持増進のために さまざまな取組を進めています

保安林の整備

水源涵養や山地災害の防止をはじめ、暮らしを守るために、特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定し、その働きが失われないように伐採の制限をしたり、期待される働きを維持できるように必要な管理を行っています。

治山施設施工地



(苫小牧市 樽前国有林)

木材利用

適正な管理のもと伐採された間伐材等の木材を当署が行う治山工事や林道工事において、積極的に活用することを推進しています。

レクリエーションの森の整備

人と森林とのふれあいの場を提供するため、四季折々の自然の美しさを楽しむことができる自然休養林や風景林などの「レクリエーションの森」を設定し、森林とのふれあい環境を整備しています。

ポロト自然休養林



(白老町 ポロト国有林)

保護林の指定

国有林では、希少な野生動植物が生育・生息する森林などを保護林に指定し、その保護・保全に努めています。

管内には、ミズナラ、ウダイカンバなどの群生地を保存する希少個体群保護林が6箇所、約115haが指定されており、保護・保全を行っています。

希少個体群保護林



(むかわ町 福山国有林)

森林整備と木材の安定供給

森林の有する公益的機能を最大限に発揮及び維持するため、自然条件等を考慮しながら森林整備(伐採・植林等)を繰り返し行い、伐採によって生産された木材は持続的・安定的に供給し持続的な森林経営を推進しています。

また、木質バイオマス発電における燃料需要の高まりを受け、伐採によって生じる林内で利用されずに放置されてきた端材や枝条の利用促進にも積極的に取り組んでいます。

木材の安定供給



(苫小牧市 植苗国有林)

「国民の森林」にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

森林・林業に関する情報・サービスの提供

国有林の管理経営に当たっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆様が開かれた管理経営を目指します。

このため、森林計画の案の公表、意見の聴取や管理経営状況の公表をはじめ、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めています。

計 画

国有林では、国民の大切な森林を管理するために、「管理経営計画」を立て、これに即した適切な管理経営に努めています。「管理経営計画」を立てる際には、地元意見交換会などを開催し、地域の皆様のご意見の反映にも努めています。

また、地方公共団体などの意見を聴き、民有林とも一体となって計画が立てられるよう協力し合い、森林づくりや木材の供給などの連携にも努めています。

フィールドの提供

国有林では、「森林づくりに参加したい」、「地球環境の保全に貢献したい」という声にお応えして、ボランティア活動のフィールドを提供しています。

区 分	箇所数	場 所	面積(ha)	内 容
遊々の森	1	ポロト国有林	46.97	自然体験等
社会貢献の森	4	苫小牧・糸井・丸山国有林	8.91	植樹・下刈
木の文化を支える森	1	ポロト国有林	4.35	植樹・下刈



遊々の森
(ポロト遊々の森)



社会貢献の森
(アオダモ資源育成活動の森)



木の文化を支える森
(イウオンネシリ)

森林・林業の普及啓発活動

当署では、地域の皆様に参加できる森林教室や職場体験学習等の普及啓発に取り組み、森林の大切さを国民の皆様にお伝えしています。

森林に関すること、お気軽にご相談ください。



職場体験学習

流域における民有林行政と連携した取組を進めています

流域管理の推進

地域における適切な森林整備や林業・木材産業の活性化を図るためには、流域を単位として、民有林と国有林で協調しながら計画を立て、事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当する北海道や市町と連携して、流域の課題やニーズの把握、森林計画等の策定のための意見調整などを進めています。



胆振地域林政連絡会議



市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議



むかわ町「地域主体の一体的な森林づくり」推進協議会

各市町の森林の現況

(単位：ha)

市町村	総面積	林野庁所管 国有林	その他 国有林	民有林	計	森林率
苫小牧市	56,165	19,474	5	13,585	33,064	59%
白老町	42,564	22,661	180	10,976	33,817	79%
むかわ町	71,136	20,003	-	36,216	56,219	79%
厚真町	40,461	-	-	28,436	28,436	70%
安平町	23,716	-	1,118	9,499	10,617	45%
計	234,042	62,138	1,303	98,712	162,153	69%

注) 総面積は「第130回(令和5年)北海道統計書」、林野庁所管国有林面積は第六次国有林野施業実施計画関連資料、その他の国有林及び民有林面積は「令和3年度北海道林業統計」(令和5年3月公表)による
計欄は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

課題への取組

平成27年10月に発生した暴風雨等による樽前山麓から支笏湖周辺の風倒被害箇所の復旧に取り組んでいます。

【風倒被害の復旧状況】



風倒直後の状況



風倒木処理の状況



トドマツ等を植樹


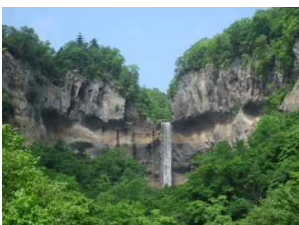


私たちの森林で緑と友達になって下さい

主なレクリエーションの森


ポロト自然休養林のビジターセンターには時々エゾシマリスが遊びに来ます。



ビジターセンター

場所	みどころ	施設	アクセス
ポロト自然休養林 	<p>「日本美しい森、お薦め国有林」に選定され、アイヌ文化伝承施設「白老ポロトコタン」に接続する丘陵性の孤立団地、白老町近郊唯一の原始性に富んだ森林です。展望台からは樽前山・ホロホロ山・白老岳や太平洋海岸線の雄大な景観を展望することができます。</p>	バンガロー、キャンプ場、展望台、トイレ、遊歩道等	JR白老駅から徒歩で約15分（インフォメーションセンター）
インクラの滝風景林 	<p>「日本の滝百選」及び「日本美しい森、お薦め国有林」にも選定され、落差約40m、滝幅約10mの飛瀑景観は豪壮です。地元の人は昭和初期まで「別々の滝」と呼んでいましたが、木材を運ぶ「インクライン」があったことから「インクラの滝」となりました。</p>	駐車場、展望台、見晴台、トイレ、遊歩道	苫小牧・白老間の国道36号線入口から車で約12km
倶多楽湖風景林 	<p>倶多楽(クッタラ)湖は環境省の公共用水域水質測定結果によると、毎年湖沼部門で全国の上位に入る水質状況が良好な湖で、支笏洞爺国立公園特別地域内にある周囲約8kmの円い形が特徴的なカルデラ湖です。</p>	駐車場、展望台	道央自動車道登別東ICから車で約8km
ホロホロ山風景林 	<p>ホロホロ山は胆振総合振興局管内最高峰の山(標高1,322m)で、すぐ隣に徳舜管山(トクシュンベツヤマ、標高1,309m)が並んでいます。山頂からは羊蹄山や恵庭岳、札幌周辺の山々まで望むことができます。</p>	7合目タツニタイ見晴台	道道86号白老大滝線からと、外1本の登山ルートあり

レクリエーション利用されている森

場所	特徴
坊主山 	<p>坊主山は、むかわ町穂別の稲里森林事務所内に位置し、標高790mの比較的低い山です。年間を通じて休憩や避難小屋として利用できる青い屋根の「山小屋坊主」が地元関係者により設置されています。山頂からは、夕張岳や幌尻岳・戸薦別岳などの山並みが360°ぐるりと見渡すことができます。</p>

令和5年度の管理経営の概要

市町別の人工林面積

市町別	面積 (HA)				
	林地			林地以外の土地	合計 (%)
	人工林 (%)	天然林 (%)	計 (%)	計 (%)	
白老	6,487 29%	14,802 65%	21,289 94%	1,365 6%	22,654 100%
苫小牧	9,276 48%	8,933 46%	18,209 94%	1,264 6%	19,473 100%
むかわ	5,925 30%	13,369 67%	19,294 96%	709 4%	20,003 100%
	21,688 35%	37,104 60%	58,792 95%	3,338 5%	62,130 100%

注) 令和2年度樹立の胆振東部森林計画区の森林計画書による。

注) 合計欄は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

主要事業量

区分		単位	予定数量	備考
供給量	立木販売	m ³	10,200	
	製品販売	m ³	30,000	
造林	更新	ha	34	コンテナ苗 53.3千本 裸苗 17.1千本
	保育	ha	138	下刈 115ha 根踏 23ha
林道	新設	m	950	
治山事業		基	2	導流堤、床固工

注1 : 事業量は令和5年度に予定している(翌債・明許を含む)数量を記載。

注2 : 供給量の立木販売は立木販売とその他の合計を記載。

注3 : 造林の更新は、新植を記載。

注4 : 造林の保育は、下刈・根踏の合計を記載。

樽前山における火山噴火防災対策

北海道の道央地方南部に位置し、苫小牧市と千歳市にまたがる活火山である樽前山は、1981年の小噴火以降、火山活動は沈静化しています。

しかしながら、時折噴煙があがるなど、再び噴火する可能性が高い状態が続いていることから防災減災のための施設計画が必要となっています。

胆振東部森林管理署では、想定される融雪型火山泥流に備えるため、各関係機関と連携のもと、樽前山の国有林野内において、計画的に治山施設を設置しています。



令和3年度に完成した鋼製自在枠工
オボップガワ
施工地：樽前山(覚生川)



【樽前山】

標高1,041m、明治42年の大噴火により、溶岩円頂丘(ドーム)が形成され、このドームは北海道天然記念物に指定されています。

むかわ町における地域主体の一体的な森林づくり

令和3年3月に国有林、道有林、町有林及び私有林の所管を超えて一体的な森林づくり、森林資源の循環利用などに取り組んで地域振興を図る目的で、むかわ町、胆振総合振興局及び当署で協定を締結しています。

この協定により、むかわ町の森林面積の約8割について3者で連携して森林整備や、木質バイオマスの活用、エゾシカ対策などを進めています。



現地検討会

ポロト自然休養林におけるアイヌ文化に貢献する森林づくり

令和2年7月に、白老町ポロト湖畔にアイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして民族共生象徴空間（愛称ウポポイ）が開業しました。

その後背地に広がるポロト自然休養林内の80年生を超えるトドマツ人工林を将来的に200年～300年生の針広混交林、広葉樹林に誘導することを目指し、白老町と連携してアイヌ文化に貢献する森林づくりに取り組んでいます。



ポロト湖

SGEC森林管理認証取得

むかわ町穂別地区の国有林約2万haでは、平成25年12月に、森林認証管理団体である一般社団法人「緑の循環」認証会議（SGEC）の森林管理認証を取得しています。

●森林認証とは

独立した第三者機関が、持続可能に管理された森林から伐採した木材であることを証明する仕組みであり、林業関係者向けの『森林管理認証』と加工・流通業者向けの『生産物認証』があります。



エゾシカ被害対策

エゾシカによる森林被害を把握するため、職員による簡易影響調査を行っています。

また、平成29年度から白老町及びむかわ町と協定を結び、各町の国有林において連携捕獲事業を実施しています。令和4年度の捕獲頭数は179頭となりました。

さらに、令和4年度には苫小牧国有林に設置した、大型囲いわなでは、73頭を捕獲しました。



大型囲いわなによる捕獲

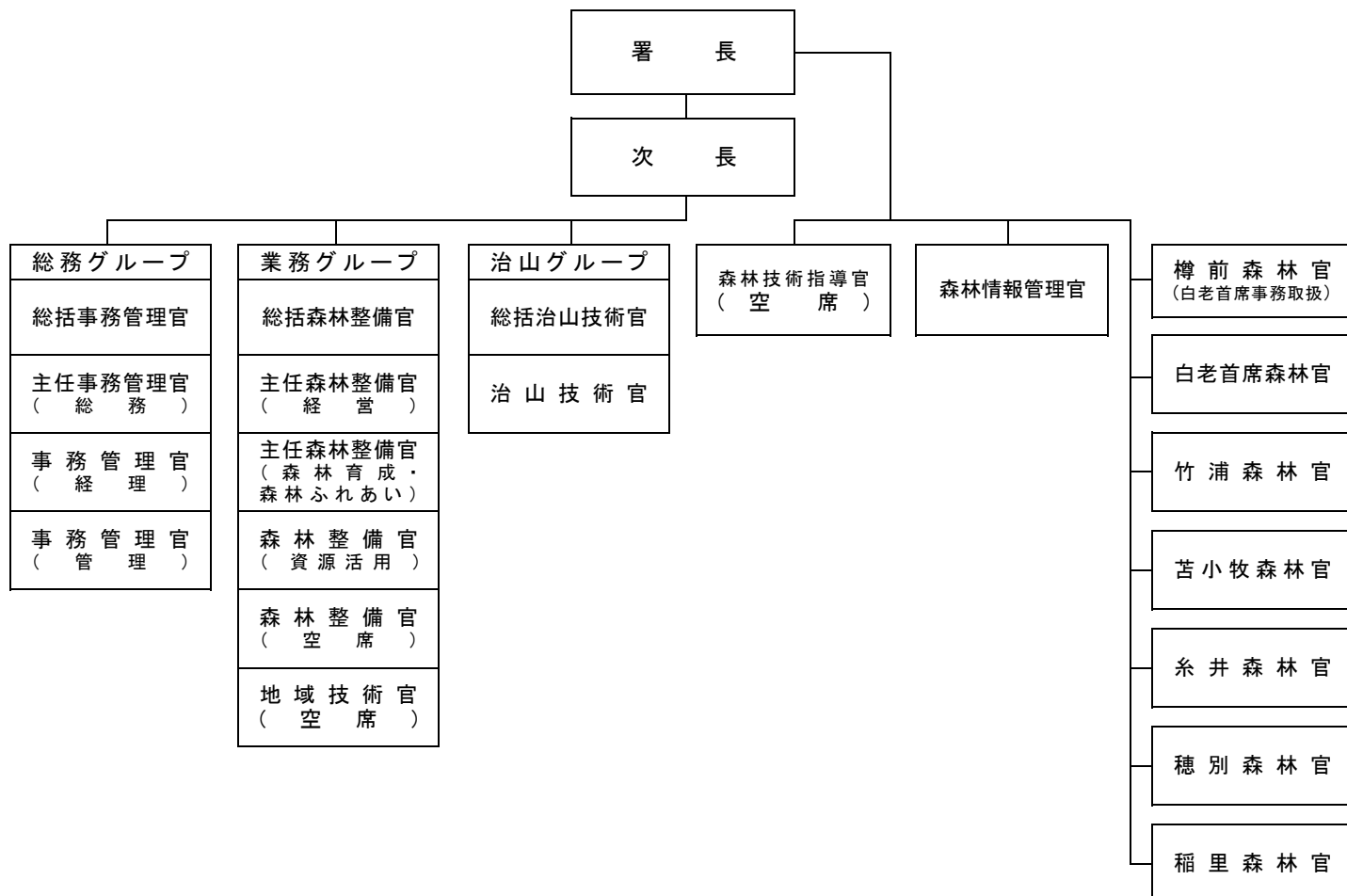


の沿革

- 明治15年 農商務省所管
- 明治19年 北海道庁所管
- 明治33年 御料局札幌支庁札幌出張所白老分担区駐在所設置
- 明治41年 札幌営林区室蘭分署森林監守駐在所設置、国有林所管
- 昭和15年 皇室林野局札幌支局樽前出張所設置、御料林所管
- 昭和22年 宮内省廃止に伴い、御料林は苫小牧第二営林署管理
林政統一により、国有林は苫小牧第一営林署所管国有林の整理分割統合が行われ、白老郡の全部と苫小牧市の一部を合わせ白老営林署を開設
- 平成11年 組織再編により、胆振東部森林管理署となる
(胆振東部流域の国有林を管理経営)
- 平成13年 組織再編により、苫小牧事務所、鷗川森林経営センターを廃止
- 平成25年 国有林野事業は、企業特別会計から一般会計へ移行

組 織 図

令和5年6月1日現在

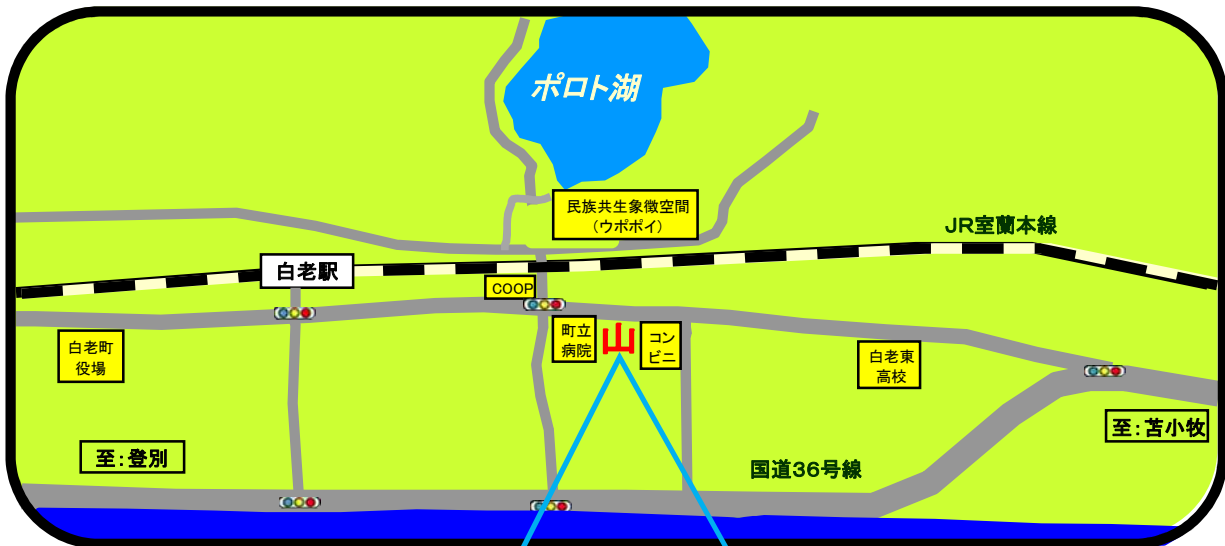


お問い合わせ・緑づくり支援窓口

胆振東部森林管理署 白老郡白老町日の出町3丁目4番1号
TEL : 0144-82-2161

樽前 森林事務所	白老郡白老町字萩野 TEL : 0144-83-2226
白老 森林事務所	【同上】 TEL : 0144-83-2226
竹浦 森林事務所	【同上】 TEL : 0144-83-4588
苫小牧 森林事務所	苫小牧市若草町4丁目4番22号 TEL : 0144-34-6810
糸井 森林事務所	【同上】 TEL : 0144-34-2352
穂別 森林事務所	勇払郡むかわ町穂別83 TEL : 0145-45-2308
稲里 森林事務所	【同上】 TEL : 0145-45-2870

胆振東部森林管理署へのアクセス



胆振東部森林管理署

